

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1町内会	682	30	7町内会	215	2
2町内会	485	9	8町内会	61	8
3町内会	169	11	9町内会	172	2
4町内会	54	4	10町内会	181	15
5町内会	68	1	11町内会	256	6
6町内会	75	0	12町内会	143	4

世帯数計2,561 事業所数計92

みち いしづ

第21号

ありがとう 感謝の気持ちで 心から

小川小4年 安達息吹 (あだち いぶき)

自分から
働く人に
ありがとう

小川小六年 中島日向 ひなた



人 人 人 初日の出に万歳 石津浜海岸



富士山 小川港 初飾り



ラッパに合わせて初日の出に敬礼 第11分団



コミセンでのミニディ 元気はつらつ



小川港 富士を背に飛ぶコリカモメ

「小川小 ありがとう川柳」上段は校長賞・左縦は企画委員会賞の2点を掲載させて頂きました。

ご苦労様 今年度で終わられる町内会長様 **お疲れさまでした**

1 町内会長 石田 敏広	自治会・町内会の経験もなく、仕事と並行で町内会長を受ける不安もあり、関連する県防災士講習会を受講した事が懐かしく思われます。幸い1年目はすべての行事が目新しく淡々と過ぎ。2年目はコロナに始まり、コロナに終わろうとしています。終わりに関係する皆さんと交流出来たことが最大の財産となりました。有り難う御座いました。
2 町内会長 小池 進	この2年間、楽しかった事、嬉しかった事、大変だった事など思い出が一杯出来ました。何するにも自分1人では出来ません。すべて地域の皆様の理解と協力です。そして大勢の皆様を知り良い経験になりました。
4 町内会長 平田 紘一	町内会長の指名を受けて、副会長5名と共に、自治会の行事、神社関係、町内会の用事を分担して二年間何とか頑張ってきました。自分は足が満足で無いので、自治会の皆様には迷惑を掛けた事と思います。自治会の中で色々な人と出会い、人々の意見を聞き、活動を見て、自分にとって人生の勉強になったと思います。コロナ渦の中、自治会活動も大変だと思いますが、今後も出来るだけの事は協力して行きたいと思えます。
7 町内会長 小林 伸吉	2年間でしたが、いろんなことが有りました。令和の年号に変わり、1年目は台風19号の災害。2年目はコロナ対応、ついこの前は、町内での火事。4月より大役を退きますが、改めて安心、安全を願います。
10 町内会長 藤ヶ谷 日出雄	自治会業務にたずさわり、安心して暮らせる石津地区とするには一人一人が自覚をもって地域と隣人に係り助け合わなければならないと気づかせて頂きました、有意義な時間有難う御座いました。
11 町内会長 石井 裕一	11町内会長を引き受けて、さあ2年と意気込んだものの・・・確かに1年目は何も分からないまま突っ走ってとても充実していたが2年目はコロナの影響で拍子抜け。いったい何だったのだろうか残念でもあり物足りなさも感じてしまう。地域防災に関しては積み残しが多く後任に期待したいものです。

令和3年は挽回の年に

港第14自治会
会長 嶋 芳 正

コロナウイルスに振り回された1年が過ぎ、ワクチン接種がようやく始まり先の明るさを感じます。私たち自治会活動も積極的に考え、前に進むための準備をし、「良し」となればすぐスタート切の事が出来るよう整えておかなければと考えています。

早く、「みんなと楽しくしたい」「唄いたい」「笑いたい」「あの人に会いたい」「話をしたい」「状況を話し合いたい」沢山の気持ちが有ります、一人暮らしのあの人がどうしているだろうか、心配を早く安心に変えたい、いろんな気持ちが渦巻きます。じゅんぴ、準備！

港中学の教えにもあるように『人の役に立った』『人から感謝された』『人から認められた』お互いの人間を認め合うよう活動していく組織作りを大事にしていきたいと思えます。



ありがとうございます

- ・しずおか焼津信用金庫石津支店様 隔月 石津中央公園の清掃有り難う御座います。
- ・石津マート様 店内での居場所 皆さんが腰を掛けゆっくりされています。
- ・11町内会 山梨 真吾様 消防団（11分団）への入団有難う御座います。地域の為の思いを感じます。

私達の石津地域で皆さんが知らない処で地域のための活動をして頂いている方々がいます。地域のために有り難う御座います。今後、順次紹介させていただきます。

世代間交流を深め ” ホットする北川原の絆” 第12町内会

コロナ禍の令和2年は、町内会の各種活動が中止となりました。せめて、年末年始のこの時期に、伝統ある北川原地域の絆を確かめ合おうと、「歳末たすけあい募金」の助成を頂いて実施しました。この集いは、三密回避を徹底し、町内会の組ごとの5会場に軽トラックで、クリスマスツリーを積んで巡回しました。各会場では、クイズをしたり、みんなで歌ったり、最後に家族で創る折り紙セットをプレゼントして楽しいひと時を過ごしました。



新田バンドの紹介



石津新田地区の音楽と酒好きな4人が集まって結成した新田バンド、平成2年の秋でした。

地元の集会場で練習を重ね、平成4年に隣町の夏祭りに呼ばれ演奏を披露しました。意外と評判が良く毎年声が掛かる様になりました。演歌からJAZZまで幅広いジャンルで演奏します。

各企業、介護施設、自治会などのイベントに誘われて約30年間演奏活動をしてきました。メンバーはだいたいぶ年を取り今は50~70代まで7名です。

年齢を重ね無理をする部分もありますが、頑張って演奏活動を続けていきたいと思っておりますのでこれからも宜しくお願い致します。

バンドマスター：吉田寿夫

夜警もコロナの影響 (焼津市11分団の皆様ご苦勞様です。)



毎晩、分団員の皆様のご協力で“火の用心”の夜警をしていましたが、コロナの影響で一時中止と成り、“アレ！来なくなった”と思われたかもしれませんが、「火の用心」の復活も焼津市のコロナの状況次第になるかと思えます。

今年になり、火災が相次ぎ出動回数が6回にも及んでいます。例年はこの様な事は無いようです。冬の風の強い時期、又地震時、台風時、皆様火の元には充分注意いたしましょう。

立哨ご苦勞様です

毎月10日交通立哨の日です、組長様には毎月、交通安全の立哨の協力を頂き有り難う御座います。残念ながら、立哨の皆様の努力を無にするかの様に焼津市内の他自治会と比較して、港第14自治会は事故・違反が多いです。

しかし、状況に負けないう頑張り抜きたいと思えます。



防災の備えは自分の為

- ・阪神大震災から26年
- ・あの日から10年
- ・記憶のバトン
- ・あの日の記憶
- ・鎮魂の祈 (神戸 5:46)
(東日本14:46)

・希望の灯り(神戸→陸前高田)
・それでも前を向いて
と聞かれる中で、2月13日夜福島県相馬の沖地震、防災の意識が薄れる状況下、私達に警鐘を鳴らしているようです。



懐かしの光景



水天宮の掛魚

まだ多くの船元があった昔は沢山の魚が奉納されていました。

提供：原崎様 (海竜丸)

港地域の「ご近所福祉その意識と実態調査」報告会開催

焼津福祉文化共創研究会（志縁団体）では、「赤い羽根共同募金」及び「静岡県コミュニティづくり推進協議会」の助成を受け「ご近所福祉その意識と実態調査」（20歳以上345名の回答）に取り組み、2月28日（日）石津コミュニティ防災センターにおいて「調査報告書」に基づき「報告研修会」が開催されました。当日は、地縁団体役員、市民約37名がこれからのご近所について学び合いました。

問い合わせ先：研究会 平田さん
(054-624-1924)



いしづの 昔話 第9話

林 雙 院 (小川)

1498年(明応7)明応地震津波で焼津市小川は大きな被害を受けました。伊勢神宮の伝承記録「皇代紀」に、明応地震の被害として【三河片浜・遠江柿基・小河ト在所者、一向人境共亡ト申】との記述があります。静岡県内では浜名湖橋本宿、焼津市の小河湊などで大きな被害があったと伝えられています。小河湊は古くから海上交通の拠点として栄えていました。この津波により陸地にあった林雙院が海の中に

埋没し、(海底にあった山門明治41年網の差障りとして爆破せり・林雙院の記録)住職はじめ多くの人たちが亡くなったとの記録(海長寺僧侶：日海が記した『日海記その他』)があります。江戸時代後期の『駿河記』で伝承として会下の島・三ヶ名迄浸水したとあります。

追記

なお、明応地震の1年前ふしぎな老人が訪れ『ここは危ない』とし坂本にお寺を移すよう進言され、現在の地(坂本)に林叟院として移っています。この出来事のため、もともと林雙院だった寺名を林叟院(「叟」は老人の敬称)と改めたそうです。

石津の地名を考える

【天文18年(1549年)今川義元朱印状に“石津湊”が初見】

いし【石】

大井川は明治の後期まで満足な堤防が無く洪水時大井川(支流黒石川・木屋川等)扇状地であるこの場所にも流石が流れ込んでいました。流石は角が取れ丸こい石だった。

つ【津】辞書で見る

- 1 船が停泊する所。また、渡船場。ふなつき場。港。「三箇(さんが)の津」「海上(うなかみ)のその津をさして君が漕(こ)ぎ行かば」(万・一七八〇)
- 2 港をひかえて、人の多く集まる所。また一般に、人の多く集まる地域。「十四日の夕暮、敦賀の津に宿をもとむ」(奥の細道)



私たち14自治会でHP(ホームページ)を始めました、この地域を知り、地域の歴史を知り、地域の活動を知り、地域の自然を知る情報を中心に運用をしていきたいと思ひます。

PCでの検索方法

1. 港第14自治会で検索
2. 焼津市：全国の町内会、自治会HPリンク集(クリック)
3. 焼津市港第14自治会(クリック)

編集後記

“みなといしづ”令和2年度最後の発行です。新型コロナウイルス対策で、この1年地域の行事が殆ど中止、人の流れも止まり、話題を探ることが難しいようですが、今回はこの様な中でも地域の中で活動している団体を紹介してみました。みなさん地域の潤滑油として活躍されている方々です。

広報委員：嶋芳正、長田弘三、太田良高治、小池進、石田敏広
サポーター：鈴木吉秋、中村裕美、吉田勝己

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1町内会	703	31	7町内会	215	2
2町内会	488	10	8町内会	58	8
3町内会	171	12	9町内会	172	3
4町内会	51	4	10町内会	184	15
5町内会	68	1	11町内会	255	6
6町内会	76	0	12町内会	152	4

世帯数計2,593 事業所数計96

みらい いしづ

第22号

ありがとう その一言 笑顔咲く

港小6年（現港中1年）近藤ひより

つくりたい

誰もが笑う

いい場所を

港小6年（現港中1年）寺西 優奈



退任される町内会長さんの挨拶



小川港 胸壁工事の状況



防災資機材点検・運転確認



水天宮（八幡宮）の清掃ご苦労様です



青少年の家での避難についての話し合い



交通安全 毎月10日の立哨 6町内会の皆さん

上段・左縦の言葉は明るい街づくり推進会が小・中学生から募集した標語優秀作2点を掲載させて頂きました。

防災はその地域から

港第14自治会

会長 嶋 芳 正

3.11の地震津波、台風時の高潮水害、牧之原での竜巻、強風時の火災といろんな角度で災害がおきます。

防災の考えを見直し、万一の為にこの地域の皆様の協力・団結心、助け合いの精神を高め皆さんの力で乗り切らなければなりません。地域の事は地域が知っている。防災はその地域から。



令和3年度 港第14自治会の三役・町内会長

コロナウイルス禍2年目に入りますが、明確な先が見えない状況が続き、行事の中止により活動のノウハウが受け継がれて行かない事が、一番心配です。“活動を忘れたカナリヤ”に成らない様に活動再開の準備をしていきたいと思ひます。

新役員紹介

1 町内会長 吉田 一夫	・コミセン会計 ・環自協担当	昭和に始まった区画整理も完工率も100%となり新しい街が生まれました。ゴミや雑草のない美しい街、子供やお年寄りの見守りを皆がする優しい街、そんな心の街を目指して頑張ります。
2 町内会長 石崎 毅	・社協 ・防災担当	初めての仕事で、分からないことが多く日々苦勞しています。そんな時は、前町内会長からアドバイスを頂きながら、やっています。皆様のご協力をお願い致します。
4 町内会長 土屋 義雄	・環自協 ・福祉担当	自治会に携って1ヶ月になります。何がなんだか夢中で、振り返る暇もありません。浜の5・6町内会長の二人に声をかけてもらって色々教えて頂いて少しは何かが見えて来た様な気がします。これからは自治会の皆さんと協力し頑張ります。
7 町内会長 森 昭治	・防災 ・交通担当	私は、水天宮前で生まれ小川小学校、中学校を卒業しこの地域にはお世話になった先輩、仲間が多くいます。そのためにも優しく思いやりのある街創りに頑張りたいと思ひます。
10 町内会長 安藤 聡	・交通 ・広報担当	区画整理事業により、日々景色が変わっています。道路も整備され、新しい家も建ち始めています。従来に住人とのコミュニティ（防災、自治会活動）の有りがたが、重要かと思ひます。
11 町内会長 佐藤美代志	・防災 ・広報担当	石津港町に住みはじめ約40年になりますが、地域のことをあまり知らないため戸惑うことがよくあります。今年、津島神社例祭の当番町内会ですが、いろいろ教わりながらやっております。
女性部長 小林友絵	8 町内会	今後は支部長の皆さまのご協力を賜り無事に務めたいと思ひます。1年間何卒よろしくお願ひ申し上げます。
体育委員長 森田将行	6 町内会	2年間宜しくお願ひ致します。
保健委員長 山田和代	8 町内会	新型コロナの影響で、なかなか思うように活動する事が出来ませんが、こんな時だからこそ、地域の仲間がいるということをおもひ起こし、だれ一人取り残さない、温かい地域づくりを！

第11町内会の紹介

第11町内会は20組、約260世帯の比較的大きな町内会です。多くの世帯は、港小中学校が新設された頃から居住している、やや高齢者が多い世帯状況となっております。町内会活動では、地元の水天宮や津島神社などの祭典を担ったり、港公民館周辺の除草、干潮時間帯に合わせた川の清掃や地域防災などに力を入れています。



津島神社ちようちん祭

自治会活動

4・18	港第14自治会総会	町内会長、役員
5・25	町内会長会。河川課のハザードマップの説明	町内会長、役員
5・17/6・17	おでかけ支援運営委員会	民生委員、町内会長の一部
6・11	お助けネットワーク	民生委員、町内会長
6・18	青少年の家との避難時についての打ち合わせ	防災委員長、副委員長

（「避難勧告」と「避難指示」）⇒「避難指示」に

2021年5月20日、改正された災害対策基本法が施行され、市町村が発令する避難情報に変更されました。これまでの「避難勧告」「避難指示」順序が統一され、今後は「避難指示」のみとなります。これまでの避難情報の発表方法では、本来避難すべきタイミングで避難せず、逃げ遅れによる被災者が発生しています。また、5における避難行動は、これまでの「災害発生情報」に変わり「緊急安全確保」になります。災害が切迫又は、発生している状況を示し、避難出来ない人は、今いる場所で安全確保をして頂くと言うものです。



オオキンケイギク (外来危惧種)

北アメリカ原産の外来種で、荒野でも元気に生育するほど生命力が強い。黄色の綺麗な花、石津の地域でもところどころで見られます。残念ながら外来危惧種で栽培が禁止されています。見つけたら、種が散らないようにビニールの袋に入れてゴミとして処分してください。

おでかけ支援 (14・23自治会の共同事業)

港地域づくりで、一人住まいの高齢者や、買い物の移動に困っている皆様に「おでかけ支援事業」を計画しています。初めての事なので規模は大きく出来ませんが、運営検討委員会で意見交換しながら、9月頃から実証実験としてスタートしたいと考えています。高齢者の皆さんは困りごとが多いかと思ひます。皆様のご要望を聞きながら港地域をよりよい生活ができる、人が助け合える地域、人間関係にしたいと考えています。



思い出のアルバム

建前（棟上げ式）

上棟式、家屋の守護神と大工の神を祀って、棟上げを無事に終わられたことに感謝する、棟上げ式とも呼ばれます。神恩に感謝すると同時に、施主は建築現場の関係者に料理やお酒をふるまったり、手土産で労いの気持ちを表します。

昔は親せき一同が協力して建前をし、餅まきや写真のように最後は賑やかにお祝いをしたものです。

(写真提供：原崎さん、海竜丸)



ありがとうございます

丸山雅史様 1町内会から港小学校近くまで子どもの見守り、毎日ありがとうございます。

港第14自治会会員の皆様 水天宮、八幡宮の当番制で境内の清掃ありがとうございます。

港っ子サポーターの皆様 港小学校の図書整理・読み聞かせ、通学時の交通安全の見守り、草取り・木の剪定、計47名の皆様ありがとうございます。

心に響く小さな5つの物語

藤尾秀昭・著 一致知出版社

致知出版社様のご厚意を頂き、五話の内の『第五話 縁を生かす』を今号から3回に分け掲載する事にしました。同じこの地に生きる”縁”を持つ私達、心の琴線に触れる物語をお楽しみ下さい。

- 第一話 夢を実現する
- 第二話 喜怒哀楽の人間学
- 第三話 人の心に光をともし
- 第四話 人生のテーマ
- 第五話 縁を生かす

第五話 縁を生かす

その先生が5年生の担当になった時、一人、服装が不潔でだらしく、どうしても好きになれない少年がいた。中間記録に先生は少年の悪いところばかりを記入するようになっていた。ある時、少年の一年生からの記録が目にとまった。「ほがらかで、友達が好きで、人にも親切。勉強もよくでき、将来が楽しみ」とある。間違いだ。他の子の記録に違いない。先生はそう思った。二年になると「母親が病気で世話をしなければならず、

時々遅刻をする」と書かれていた。三年生では「母親の病気が悪くなり、疲れていて、教室で居眠りする」三年生の後半も記録には「母親が死亡。希望を失い、悲しんでいる」とあり、四年生になると「父親は生きる意欲を失い、アルコール依存症となり、子供に暴力をふるう」先生の胸に激しい痛みが走った。
次号(23号)へつづく

編集後記

本屋さんで涙しながらの立ち読み、買い求め家に帰り改めて読み直し、地域の皆様にも読んで頂きたいと思い、致知出版社様にこの港第14自治会の広報への掲載許可のお願いをしたところ、一つの物語でのご了解を頂きました。5話どれも人の心を動かせる内容です。(嶋)

広報委員：嶋芳正、太田良高治、長田弘三、安藤聡、佐藤美代志
サポーター：大澤雅晴、石田敏広、小池進、鈴木吉秋、中村裕美、吉田勝己

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1 町内会	715	31	7 町内会	215	2
2 町内会	488	10	8 町内会	58	8
3 町内会	172	12	9 町内会	175	3
4 町内会	51	4	10町内会	184	15
5 町内会	68	1	11町内会	255	6
6 町内会	76	0	12町内会	155	4

世帯数計 2,612 事業所数計 96

みなと いしづ

第23号

ありがとう 感謝で心の 花は咲く

(令和3年度 明るい街づくり標語)

港小4年 良知侑采^{ありさ}

さしのべよう

(令和3年度

福祉の街づくり標語)

困った人への

勇気の手

港中 三年

中村夏惟^か



変わり行く小川旧内港(旧魚市場の解体)



進行する小川港の津波対策の胸壁工事



8月16日の精霊送り



精霊送りを支える女性部の皆さん



コロナにも負けじと女性防災部員の活動状況



松葉清掃のグランドゴルフの皆さん

組み立て式ごみボックス (カラスいけいけ君)



日頃は可燃物、資源物の分別収集にご理解とご協力を頂きまして、ありがとうございます。ところで、当自治会では衛生面や環境美化を進めるため、市の推奨する組み立て式ごみボックスを現在町内各所に24台設置していますが、取付けるには、①～③などの条件があります。設置を希望される場合は、町内会長さんにご相談ください。

条件として・① 交通に支障を与えない場所であること ② ボックスが風に飛ばされないよう固定出来ること ③ 最初にごみを出す人が組み立てること（回収後は回収者が折り畳んでくれます）

設置するには・毎年市の助成での設置（数に限りがある）と、全額町内会の費用での設置の二通りあります。

特徴としては・こじんまりとして外見が良くなります交通障害も無くなります。
・正しく使えばカラスの被害がほぼなくなります。
・枠はアルミパイプ製で錆びることはありません。四方はネット張りです。
・普段は折畳み、ごみの日に組み立ててください、非常に簡単です。

注意点として・蓋が閉まらない状態までごみを入れないこと、衣類は不燃物回収時に出して下さい。

消防団活動 ～人創りの場～

第11分団分団長 影山直樹



昨今、コロナ禍で皆様の行動も制限がかかり大変な状況になっていると思います。消防団としてもこの状況下で活動にも制限がかかっておりますが、そんな中でも災害時には、いち早く駆けつけてくれる分団員達がおります。

私は消防団員になるまで消防団のことは何一つ知りませんでした。むしろ、面倒なことを頼まれたぐらいにしか思っていませんでした。しかし、活動をしていく中で、消防団員になる人たちは人のために思い行動できる人たちの集まりであることを

知りました。私は消防団員の仲間になれたことを誇りに思います。それと共に成長できたと自負しております。石津地区の皆様の安全と財産を少しでも守るために、消防団活動に興味、関心のある方、18歳以上の男女なら誰でもなれます、私たちの仲間になってみませんか。

第1町内会の紹介

～新田島の宝物～

第1町内会長
吉田一夫

私たちの住む第1町内会は大井川により形成された平野に位置し、稲作地帯として発展してきました。稲作をするため邪魔となる石を取り除き、積み上げた所がボタとなり、ボタは畑や林などとして活用されて来ました。その際、川原の上に作られた田は耕作土が浅く、河原田、日焼島と言う地名の由来となっています。繰り返される大井川の氾濫は収穫間近の作物を流し、このような場所の田は元の河原に戻ってしまうこともたびたびでした。

石津八幡宮の西隣の新田の共有地には津島神社、地蔵菩薩、庚申塔、五輪塔が祀られています。この内の五輪塔は元々池ヶ谷街道の脇にありました。旅の女性が行き倒れになったため、地域の人達が手厚く葬ったと言われています。自然石を塔に削り出し五本の線を水平に刻んであります。この五輪塔は婦人病に聞くとの評判で【流行り神】となりました。病気平癒を願いお供えをし、よくなると人々はお礼として赤い絹糸を掛けたと言われています。平和で安全、安心な現代に生活する私たちは、遠い昔の先祖の厳しい生活を想像するとともに、歴史も知りながら感謝の気持ちで過ごしたいと思ひます。



前の川の橋の名前で歴史を探る!



前の川に掛かる⑦蔵前橋、⑪日焼島橋にまつわる歴史を紹介します。小川村史によると、前の川は、大富村、祢宜島と石津の境にある小さな泉より発し、田園の水を合わせて五右衛門升田の地先にて木屋川河口に入ると記されています。

前の川に掛かる橋は、次に掲げる①～⑱があります。

①臨港橋S63/3 ②新港橋H2/7 ③大水土居橋H3/3 ④宮田橋H10/3 ⑤向下橋H7/4 ⑦蔵前橋H11/3
⑧前の川橋H30/3 ⑨蔵見橋H5/3 ⑩耕雲寺橋H6/3 ⑪日焼島橋H6/3 ⑫新田橋H5/3 ⑬ほほえみはしH7/3 ⑭新田中央橋H16/3 ⑮モンドウ橋H17/3 ⑯桂徳橋H7/8 ⑰暁橋H16/3 ⑱祢宜島橋H10/3
です。

⑦蔵前橋の由来は、小川村史によると、江戸幕府の時代、年貢を村役人が取り立て、領主に引き渡すまで積み置く倉庫を「郷蔵（ごうぐら）」といい、その郷蔵が石津村字本田、今の蔵前橋の北脇にあり、郷蔵の前にある橋として「蔵前橋」と名付けられたようです。なお、郷蔵の跡地には、その後、農協や尋常小学校ができて、尋常小学校の石碑が今も残っています。

⑪日焼島橋についてはヤシャンポーによると、「日焼島」という小字にある橋として名付けられたようです。「日焼島」と呼ばれる小字は作土がほんの15～20センチ程で、夏には水田が湯になる程高温化するのので、稲の根が腐り秋になって実りは始める前に枯れる有様であったことから、「日焼島」と名づけられたようです。

人物紹介

あゆみ 佐野 亜友美さん (11町内会)

第22回 しずおか市町対抗駅伝競走大会出場者



今年も12月4日に静岡市で「しずおか市町対抗駅伝競争大会」が行われます。この大会は、2000年11月23日に第1回大会が始まり、この時は市の部では富士市、町村の部では浅羽町が優勝しました。焼津市も参加しており佐野亜友美さんは、第1回大会より市の代表としてこれまで16回も参加しています。

今年もコロナ禍の中ではありますが、第22回大会の開催が予定されています。佐野さんは3児の母でありながらも、石津の海岸をトレーニングで疾走し日頃より自己鍛錬に励み、この度、市の選

考会を見事突破し選抜されました。当日は「一般女子」の部で駿河路を駆け抜けます。ことしも駅伝競争大会を通じ、県内各市町相互のさらなる交流やスポーツ振興のため、市の代表として出場します。港14自治会の佐野さんに皆さんでエールを送ってください。

思い出のアルバム

～昭和35年頃の石津浜海岸の堤防～

昔、石津浜海岸の堤防は蛇籠(じゃかご)に石を入れた堤防でした。昭和41年9月の台風26号の被害を受けた後、対策が講じられ、昭和41年～44年にかけて今の石津防潮堤が出来上がりました。

現在はコンクリート製の堤防が、石津から和田浜に続いています。又、この石津浜海岸の堤防は、富士山を眺めながらの散歩コースとしても多くの人に親しまれています。

(写真提供：第2町内会 小池さん)



ありがとうをさいます

水天宮前での見守り 登校時：松浦勇様、白柳猛様、下校時：鈴木一夫様12年間ありがとうございます。

松の小径信号での見守り 登校時：良知秀彦様、子供会の皆様(交代制) 毎日ありがとうございます。

心に響く小さな5つの物語 藤尾秀昭・著 一致知出版社一

第五話 縁を生かす (今回は、22号に続き2回目です)

ダメと決めつけていた子が突然、深い悲しみを生き抜いている生身の人間として、自分の前に立ち現れてきたのだった。放課後、先生は少年に声をかけた。「先生は夕方まで仕事をやるから、あなたも勉強していかない？ わからないところは教えてあげるから」それから毎日、少年は教室の自分の机で予習復習を熱心に続けた。授業で少年が初めて手をあげた時、先生には大きな喜びがわき起こった。少年は自信を持ち始めていた。クリスマスの午後だった。少年が小さな包みを押し付けてきた。

後で開けてみると、香水の瓶だった。亡くなったお母さんが使っていたものに違いない。先生はその一滴をつけ、夕暮れに少年の家を訪ねた。気がつくと飛んできて、先生の胸に顔をうずめて叫んだ。「ああ、お母さんの匂い！ きょうはすてきなクリスマスだ」六年生では先生は少年の担当ではなくなった。卒業の時、先生に少年から一枚のカードが届いた。「先生は僕のお母さんのようです。そして、今まで出会った中で一番すばらしい先生でした」それから6年。またカードが届いた。 次回号に続く

次回(最終回)、届いたカードには何が？ 先生と少年に紡がれた縁が導く結末をお楽しみ下さい。この小さな物語は致知出版社のご厚意により掲載させて頂いています。

編集後記

令和3年最後の「みなといしづ」の発行です。今年はコロナ禍に東京オリンピックが開催され、選手の活躍を拝見し、感動をいただきました。一方、コロナ感染予防のため市や自治会の地域行事の多くが中止となりました。来年こそ、港第14自治会の元気な活動状況の記事を掲載できることを願うところです。皆様のご意見や地域情報をお待ちしております。

広報委員：嶋芳正、太田良高治、長田弘三、安藤聡、佐藤美代志
サポーター：大澤雅晴、石田敏広、小池進、鈴木吉秋、中村裕美、吉田勝己